



おすぎ

みんなに  
言いたいことが  
あります

こんにちは、おすぎです。いかがお過ごしでしょうか？  
私の世界を輝かせてくれた「KING OF PRISMの話」をしようと思います。

皆様、「キンプリ」をご存知ですか？アイドルの方ではなく、アニメ「KING OF PRISM」、略して「キンプリ」の方です。出会いは7年前でした。私ごとで色々大変な時期、たまたまヤバイアニメが劇場でやってるから行って見ないか？と友人に誘ってもらったことがきっかけでした。ちょっと行ってみようかなくらいで観てみたら、「一体今何を観たんだ？」



名古屋駅に掲示された看板

理解出来ません。もう一回行って確かめよう、あれ？、おかしいな、世界が輝いてみる…！、と何度も通うようになっていました。また「キンプリ」に欠かせないのが応援上映です。この応援上映がまた褒め言葉での異常で愛に溢れています。好きなものを好きと言える空間です。映画館に通い、こんなに



7周年記念上映にて

狂わしく楽しい日々があったのかと、煌めきだす自分がいました。なんと、かの尾田栄一郎先生もこのキンプリの応援上映を体感されて「ONE PIECE FILM RED」に取り入れたとのことです(大声)。とにかく私はことある毎にキンプリに勇気づけられ救われました。毎日が輝いてる！主人公一条シン君の言葉を借りて皆さんにおすすめしたいです。「毎日をなんとなくつまらないなーって思っている人に教えてあげたいんです。世界は、輝いているって！」  
ごめんなさいあらすじを書いていませんでした。プリズムス

今回の学び 書ききれないのでまた書きます

アジアを代表するデュオ

CHAGE vol.2  
and ASKA



おが  
前回に引き続きCHAGE and ASKAの現在の状況はどうあれ、その魅力と素晴らしい歌声を1人でも多くの人に知って欲しい一心で紹介します！

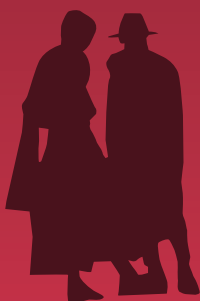
C&Aの魅力はとにかくCD音源よりライブ音源が桁違いに素晴らしいことです。その中のお気に入りの1曲『[LIVE] 野いちごがゆるるように/夢の番人 SPECIAL EVENT 1993 GUYS』を紹介します。



<https://youtu.be/hDEW97NOZiM>>>>>

ミリオンセラーを達成したアルバム『GUYS』の中の1曲で、第7回日本ゴールドディスク大賞受賞式で歌われたことで有名になった「野いちごがゆるるように」。当時小学生だった私は、ゆったりとした素敵なバラードというイメージだけで、過去の恋愛を懐かしく指折り数えて追憶に浸るなんて歌詞に共感ができる訳ありませんでした。しかし最近YouTubeで出会ったこのLIVETAKEは、アルバムにはない2人のイントロコーラスから始まるんですが、これがとても美しいです!!このコーラスだけでコンサートが出来そうなクオリティでした。実は、このコーラスは最後のサビのバックコーラス部分で、耳を潜めて聞いてみると微かに聞こえてきます。若き頃には感じる事が出来なかった、甘酸っぱい恋愛を思い出させてくれるそんな1曲。当時ASKAが十数年後の自分に向けて作ったと言われているこの曲は、ファンもC&A自身も歳を重ねて歌い方や思い入れが変化していく時代を超えて変化していくまさに生き続ける楽曲です。一音一音丁寧に折り重なる2人の歌声は、息づかいまでも美しく、細かいことは抜きでただただ美しいばかりです。

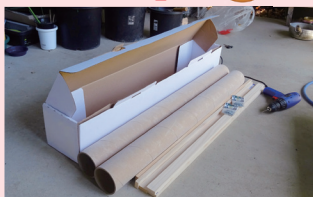
C&Aにはたくさん有名な曲があり、LIVEには紹介したい伝説的なシーンがたくさんありますが、今回はこの「野いちごがゆるるように」をゆっくり1人で昔を懐かしみながら、聞いてみてください。私は、いつか歳を重ねた二人の歌声でもう一度聞ける事を夢見て、C&Aを聴き続けていこうと思います。



「Welcome to ...」😊



わが社のインクジェット出力機。紙のロール巾は900mm程、



その空き箱と芯棒はとっても頑丈だ🤔



よしっ、プリンターをこしらえ🤖



リユース



2月、根っこが小ぶりな Strawberry 章姫(あきひめ)と 幸の香(さちのか)



平田

4月下旬、Happiness!

# よもやまばなし

## 皐月：菖蒲の間

みなさま、最近急に夏日が来ましたね。衣替えが間に合わず汗をかいていませんか？私は汗だくでした。慌てて衣替えをしたものの、急に寒くなるとはどういふつもりでしょうか？不安定な気候で体調を崩さないよう、気をつけてお過ごしください。GWが待ってるから！

もう5月ですねー、いや～はやいなー！ ついこの間正月だったような気が…  
先日3人めの孫が、初節句ちゅーこととで、5月人形を見に巨大ショッピングモールへ行ってきました。  
いっぱい色んなのがあるねー。まあどれも綺麗にできていて、娘夫婦もかなり迷っておりました。決まるのに2時間ぐらいいかつたかな～の兜の平飾りで、一番みんなが「いいなあー」と思ったものにやっとなら決まりました。  
まー一生に一度だし、なるべく後悔したくないもんね。  
おいちゃんが子供の頃は、そんないいもの買えるのは、そこのお金持ちしかなくて、大抵はガラスケースに入った「子供大将人形」か、「金太郎人形」が主流だったな。  
昔はね、それでも普通の一戸建ての家庭には、猫の額ほどの庭があって、そこに鯉のぼりを立てる家がありと多かった。  
最近住宅事情からか、市内ではあまり見られなくなっちゃったね。  
端午の節句は、古来中国で行われていた厄払いの行事が始まりといわれているんだって。で、なんで鯉かって言うのは、昔黄河の急流にある龍門という滝をのぼろうと多くの魚が挑むなかで鯉だけがのぼることができて、やがて竜に化けたちゅーはなしから、鯉が立身出世の象徴であると考えられるようになったんだって。  
で、鯉のぼりは江戸時代の頃、将軍家に男の子が生まれたときに、家紋がついた旗指物と言われる軍旗なんかののぼり旗などを飾ってお祝いしてたのが、江戸庶民に広まって、立身出世の象徴である鯉を紙に描いてあげるようになったのが始まりちゅーことらしいです。  
だけどさ、こういった文化てのはいつまでも残していきたいもんだと思うね。

